

静岡銀行グループの経営資源

静岡銀行グループがこれまで地域で培ってきた強みを経営資源として、魅力ある地域社会、魅力ある静岡銀行グループへの持続的な成長を目指します

※注記のないものについては2022年3月末基準



健全な財務・収益基盤



- BIS自己資本比率 **16.08%**
- 格付(長期) **A1** (ムーディーズ)※
A- (S&P)※ ※2022年7月1日現在

公共性の高い金融機関として、健全経営を基本に、邦銀の中では最高水準の自己資本比率と格付を維持しています。健全な財務を基盤として、リスクリターン最適化を追求し、中長期的な成長を目指します。



多様なプロ人財



- グループ従業員 **6,468**名
- 中小企業診断士 **65**名
- FP1級取得者 **331**名

課題解決型企業グループへの変革を実現するため、多様なプロ人財を育成しています。また、従業員一人ひとりが希望するキャリアプランの実現に向けて、能力開発制度の拡充に取り組んでいます。



財務資本
Financial Capital



人的資本
Human Capital

社会関係資本

Social and Relationship Capital



知的資本

Intellectual Capital



自然資本

Natural Capital



お客さまとの豊富な接点、業種の垣根を超えた企業連携



- 静岡県内 **171** 拠点*
- 県外 **32** 拠点*
- TECH BEAT Shizuoka
参加者数 **3.1** 万人(累計)

※2022年7月1日現在

いかなる時代にあっても変わらぬ安心、安全をお届けすることで、多くのお客さまから信頼をいただいています。

また、異業種連携などを通じ、最先端の技術やビジネスチャンスを地域へ呼び込んでいます。



地域に寄り添う 総合金融サービスの提供



- 連結子会社 **13** 社、持分法適用関連会社 **3** 社

お客さまのあらゆる課題に対し、グループ各社が専門性を発揮するとともに、一体となってソリューション(解決策)を提供しています。



地域の豊かな観光資源



- 移住したい都道府県 全国 **1** 位
(2021年認定NPO法人ふるさと回帰支援センター調べ)
- 温泉利用者宿泊施設数 全国 **1** 位

自然環境、歴史や文化、首都圏とのアクセスの良さなど、静岡県の豊かな地域資源を活用し、観光産業やその周辺産業の発展を支援しています。

静岡銀行グループの価値創造プロセス

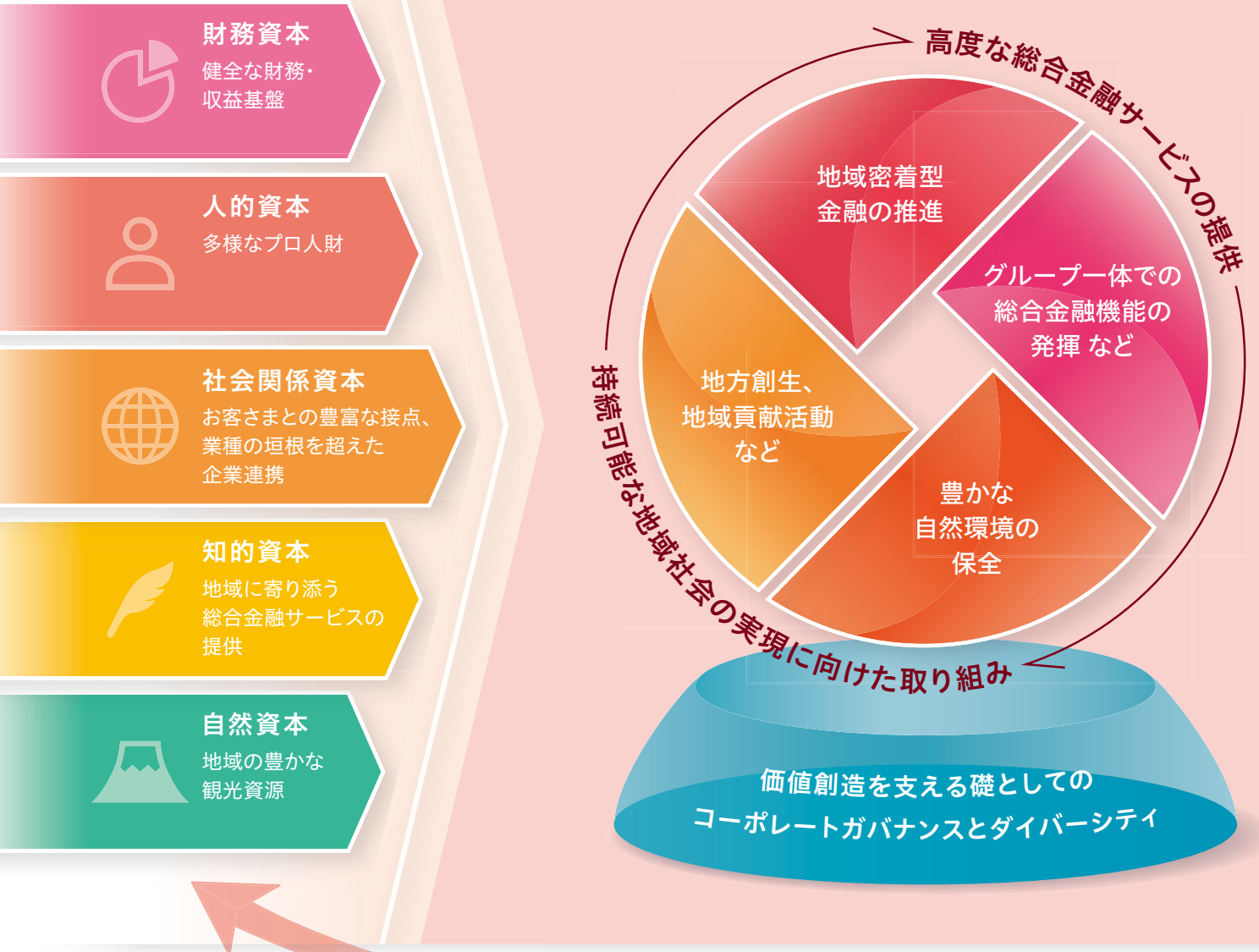
静岡銀行グループは、基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、
静岡県を中心とする地域へ高度な総合金融サービスを提供し、
持続可能な地域社会の実現に取り組んでいくことで、全てのステークホルダーへ多様な価値を提供しています。

基本理念 Corporate Philosophy **地域とともに夢と豊かさを広げます。**

活用する資本 Input

企業活動 Activity

地域との共生による持続的成長の実現



提供する価値 Outcome

- 地域社会**
- 持続的な発展
 - 地域経済の活性化
 - 脱炭素社会の実現

- お客さま**
- 課題解決、最適なソリューション
 - 高い利便性
 - 揺るぎない信頼

- 株 主**
- 中長期的な企業価値向上
 - 非財務情報を含む、透明性の高い情報開示
 - 積極的な対話

- 従業員**
- 働きがい、成長の実感
 - 多様な働き方
 - ワークライフバランス

目指す姿 Vision



魅力ある地域

- 住みたくなる
- 働きたくなる
- 行ってみたいくなる



魅力ある
静岡銀行グループ

- 持続可能なビジネスモデル
- 従業員が地域や自社に誇りを感じる企業風土



COLORs ~ 多彩 ~

名称に込めた想い

これまでの銀行中心の営業から脱却し、地域やお客さまの多様化するニーズに対して、グループ一体となってさまざまな角度からソリューションを提供する営業体制への変革を目指します。また、ダイバーシティやSDGsへの取り組みをより強化する想いも込めています。

3

カ年計画

第14次中期経営計画

グループビジョン

3年ビジョン

地域のお客さまの夢の実現に寄り添う
課題解決型企业グループへの変革

第14次
中期経営計画

COLORs
~ 多彩 ~

ビジョン実現に向けた戦略展開

グループ機能発揮

基本戦略1

グループ営業戦略

新たな収益機会の追求

基本戦略2

イノベーション戦略

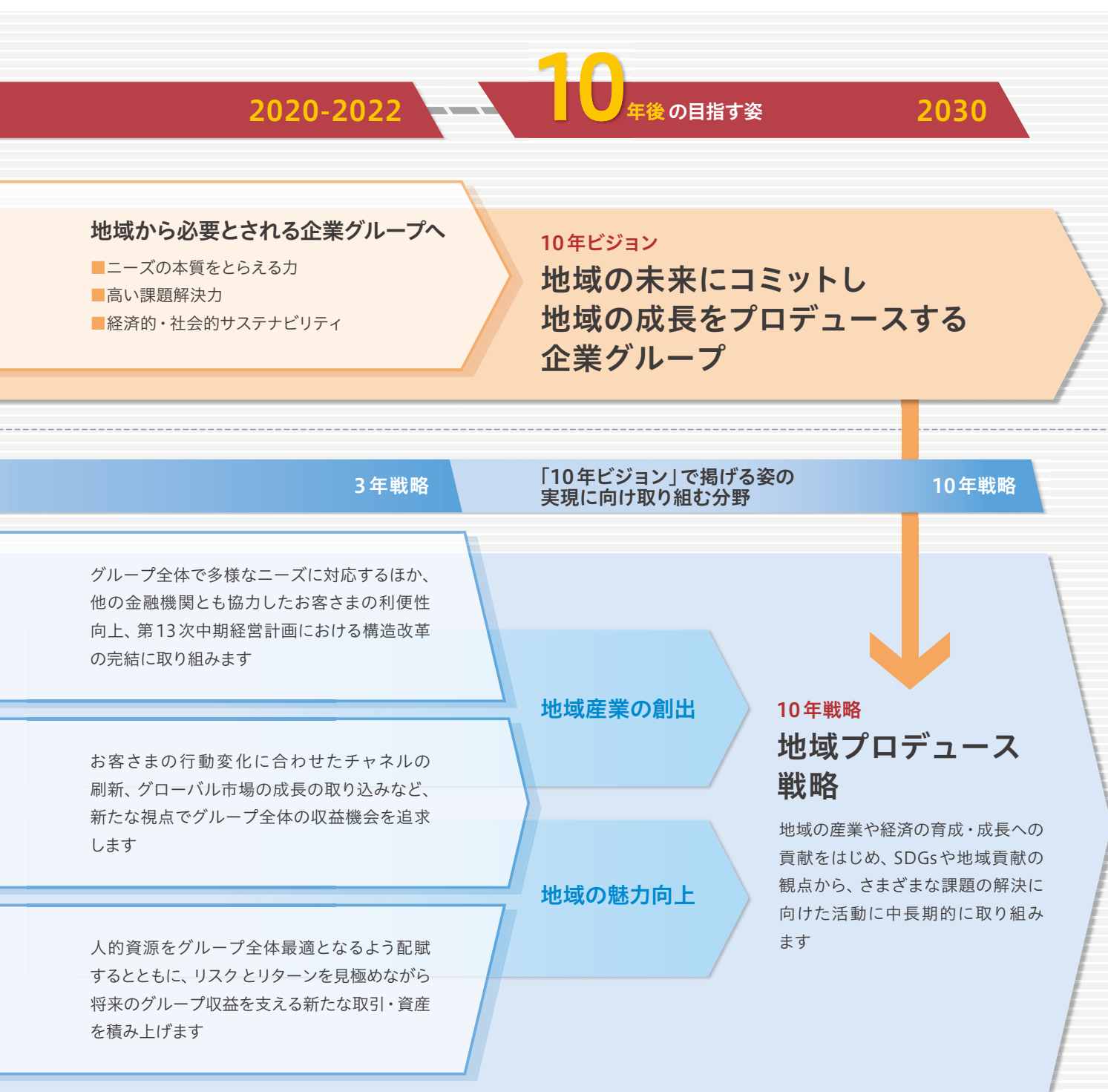
経営資源の最適な配賦

基本戦略3

ビジネス
ポートフォリオ戦略

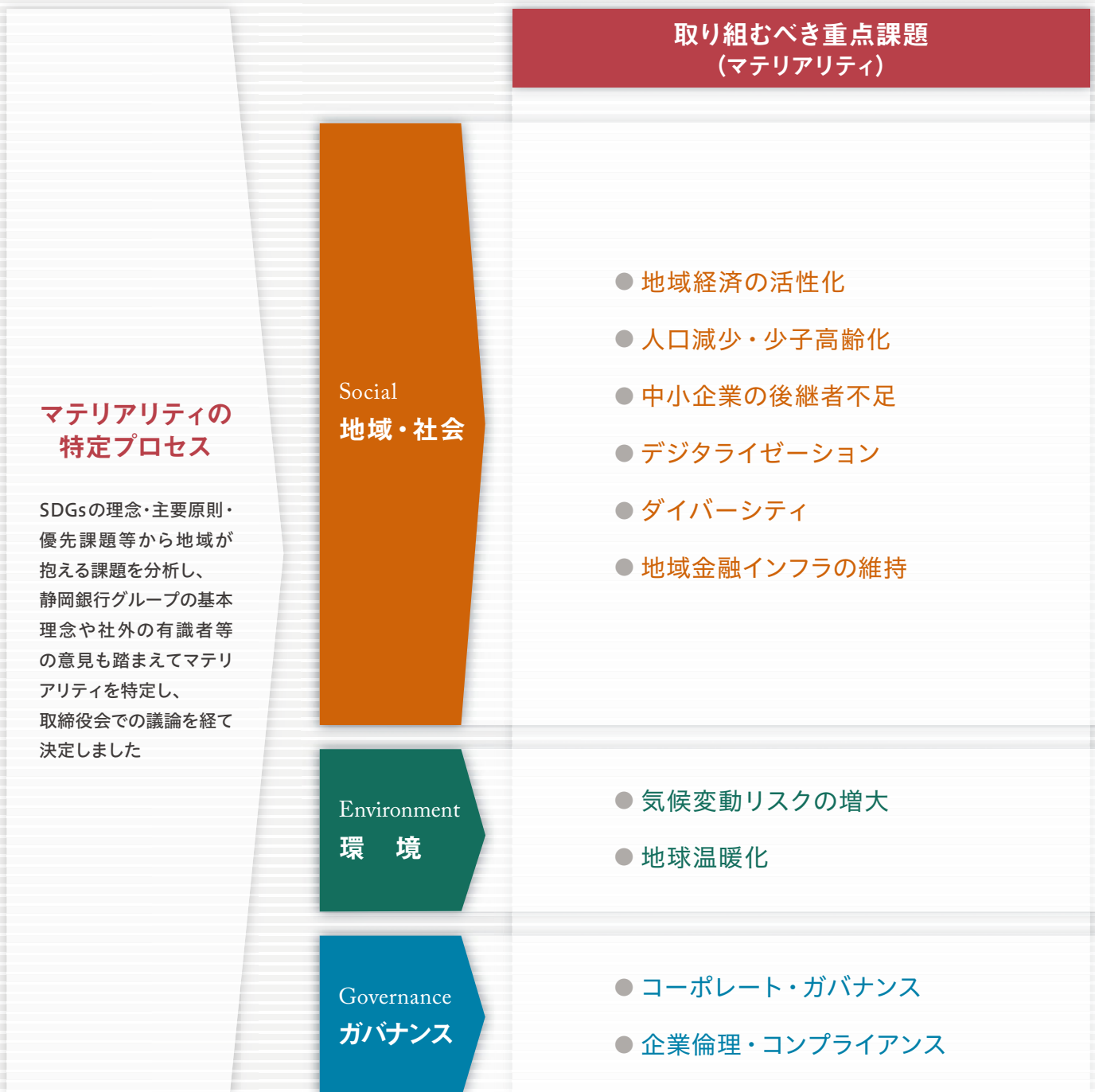
■目標とする指標 (2022年度/連結ベース)		第14次中期経営計画 策定時における経営目標	2022年度事業計画 における経営目標 ^(※)
収益性	経常利益	800億円以上	760億円
	ROE	5%以上	4.7%
健全性	普通株式等TierI比率	14%以上	15.2%
その他	OHR	55%程度	56.5%
	株主還元	中長期的に50%以上	中長期的に50%以上

(※)第14次中期経営計画策定時からの環境変化等を踏まえ見直しを実施(2022年5月公表)。



サステナビリティ経営の実現

静岡銀行グループでは、第14次中期経営計画の策定にあたり、持続可能な社会の実現および企業価値の維持・向上に向け取り組むべき重点課題(マテリアリティ)を特定し、経営戦略に反映させています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (持続可能な開発目標)

2015年9月、国連サミットにおいて「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」を全会一致で採択。先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲットが設定されました。貧困や飢餓などの社会的課題や、環境、ジェンダー平等、エネルギー、労働環境等の問題の解決に向け、すべての国に適用される普遍的な目標であり、各国政府や市民社会、民間セクターを含む様々な主体が連携して取り組んでいくこととされています。

関連するSDGs



第14次中期経営計画での主な取り組み

基本戦略 1

- 静岡銀行グループの金融機能を通じた、お客さまの多様なニーズへの対応
- 事業承継・資産承継支援
- 金融ジェロントロジー (金融老年学) の概念を踏まえたサービス提供
- お客さまのニーズに応じた店舗機能の見直し

基本戦略 2

- デバイスフリーな金融サービス
- ベンチャー投資等を通じた技術革新

基本戦略 3

- 多様な働き方、女性活躍、人財の多様化、人権の尊重

10年戦略

- スタートアップ企業とのネットワーク等の地域への還元
- 地域プラットフォームを活用した地域の魅力向上

- 環境配慮型金融サービスの推進
- ESG投資やグリーンボンドの活用
- 気候変動への対応

- コーポレート・ガバナンスの高度化
- マネー・ローンダリングへの対策強化